

日本気象学会 気象災害委員会主催
平成23年台風第12号、第15号による豪雨に関する研究会
プログラム

開催日時 2011年11月15日（火）18:00-20:30 （メソ気象研究会終了後）

開催場所 名古屋大学 野依記念学術交流館 2階カンファレンスルーム

概要

本年9月3日に上陸した台風第12号は紀伊半島を中心として、また同9月21日に上陸した台風第15号は中部地方を中心として、それぞれ記録的な豪雨と甚大な浸水害、土砂災害等をもたらし、多くの死者・行方不明者が発生しました。気象災害委員会では秋季大会に先立ちこれらの豪雨に関する研究会を開催し、気象状況、情報、災害などについて議論します。

題目と講演者（敬称略）

<講演> 100分

1. 平成23年台風第12号による紀伊半島南部を中心とした大雨の概要について
大阪管区气象台 楠木英典
2. 平成23年台風第15号に関連する9月19日～20日の名古屋地域の大雨の概要
名古屋地方气象台 山岸昌伸
3. LFM（局地モデル）とMSM（メソモデル）の予報結果、及び 2000年東海豪雨、2008年岡崎豪雨との発生環境場の比較
気象庁数値予報課 加藤輝之・気象研究所 津口裕茂
4. 台風第12号と第15号に伴う大雨の実態と雲解像シミュレーション
名古屋大学地球水循環研究センター 坪木和久と研究チーム
5. 2011年台風第12号による人的被害の特徴
静岡大学 牛山素行

<議論> 50分

- ・ 話題提供 気象から見た明治22年十津川災害 気象庁参事官 牧原康隆
- ・ 同上 2011年台風12号の類似台風 1889年十津川水害の台風 海洋研究開発機構 久保田尚之
- ・ 同上 紀伊半島被害現地調査報告 高知大学 村田文絵・京都大学 林泰一
- ・ 同上 那智勝浦町における聞き取り調査 防災科学技術研究所 三隅良平
- ・ 議論 気象と情報と災害

問合わせ先

気象庁 高層气象台 石原正仁

TEL 029-851-5312

ishihara_masahito@met.kishou.go.jp